



40歳を過ぎたら
年に1回大腸がん検診を受けよう！

大腸がん検診のススメ

日本では、大腸がんで毎年約5万人が命を落としています。

大腸がんは、女性の部位別がん死亡数**第1位**、

男性は肺がんに次いで**第2位**となっています。

早期には自覚症状はほとんどないので、

「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。



公立学校共済組合福岡支部が実施する大腸がん検診は、
申込者全員無料で受けることができます。この機会に、受診しましょう！

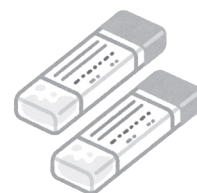
対象者

公立学校共済組合福岡支部組合員 及び 35歳以上の被扶養者

(ただし、当支部が実施する「1日ドック」「へき地ドック」「配偶者ドック」決定者は除く。)

検査内容 [便潜血検査]

2日間の便を採取し、便に混じった血液を検出する検査です。
がんやポリープなどの大腸疾患があると大腸内に出血することがあり、
その血液を検出します(通常は微量で目には見えません)。



〈検査の流れ〉



..... 大腸がん検診 Q & A

Q1.

早期の大腸がんに
自覚症状はありますか？

早期には自覚症状はほとんどありません。すでに、「便に血が混じる」、「下痢と便秘を繰り返す」といった症状がある場合には、検診ではなく早急に医療機関を受診してください。

Q2.

検診ではどのくらいの
割合で大腸がんが
見つかりますか？

便潜血検査を受けた方の中で、精密検査が必要と判定される方は、約5%。そして、精密検査を受けた方の中で、実際に大腸がんと診断されるのはおよそ30人に1人です。

Q3.

精密検査が必要と
判定ができましたが、
症状がないからすぐに
病院には行かなくても
いいですか？

精密検査が必要と判定されたら、自覚症状がなくても必ず精密検査を受けてください。
「要精密検査」とは、がんが疑われていることを指しますので、早めに医療機関を受診しましょう。